

令和2年度第3回宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 令和3年度まちづくり活動助成事業計画説明会 議事要旨

日 時：令和3年3月9日(火) 午後6時00分～7時00分

場 所：宮城野区中央市民センター2階 第1会議室

出席者：井上委員長、高畑副委員長、佐藤副委員長、庄司委員、
有坂委員、葛西委員、まちづくり推進課

1 開会

※新型コロナウイルス感染予防による入れ替え制での開催のため、委員長挨拶・評価委員の紹介・概要説明は省略。

2 事業計画説明及び質疑応答

(1) 事業名：貞山運河と新浜の魅力アップ事業

団体名：新浜町内会

<質疑・意見>

委 員 今回で本助成事業への申請は3年目となるが、町内会員210名への還元という部分において、1年目・2年目に達成できたこと、3年目に達成したいことは何か教えていただきたい。また、この事業の中長期計画があれば教えていただきたい。

説明者 地域住民がスタッフとして運営に関わるようになり、以前より地域に対する誇りを持つようになったことが、還元と言えるのではないかと。我々としては、自分たち地域住民への還元というよりは、地域の魅力を市民の皆様に伝え、知っていただくことが市民への還元につながるかと考え活動している。中長期計画については、橋が完成すれば費用のかかる渡し船は行わず、観察会のみの実施としたいが、橋の見通しがまだ立たないので、それまでの組み立てを検討していかなければならない。去年から委員の皆様が言われているように、会費制度の導入、参加料の徴収も考えていく必要があると感じている。

委 員 端的に言って、新浜の魅力とはなんですか。

説明者 自然と人である。美しい海や松林、貞山運河があり、震災後、危険区域に指定されそうになったが、住み続けたいと願った住民の強い思い・力がある。自然だけではなく新浜に住む人も見てほしい。

委 員 新浜に住む人が宝であると思うが、例えば、今回事業として挙げているようなイベントの開催日以外に、ふらっと市民が新浜に行き、新浜の案内をお願いしたときに、町内会の210人は快く対応できる状態になっているのか。それが可能になれば、イベントの時だけでなく、365日いつでも来てもらえる賑わいのある場所になるのではないかと。

説明者 理想はそうであるが、住民のほとんどが農作業など仕事があり、常に対応となると難しい。新井駅からバスが出ているので、バスで来て散策などしてもらいたいが、バスのルートが荒浜などに比べて認知されておらず、PRについて区役所に相談している。事前に連絡をもらえれば、新浜みんなの家を開けて迎え、誰かしら新浜を案内するのでぜひ足を運んでもらいたい。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(2) 事業名：X橋と駅東の歴史文化の伝承・共有プロジェクト

団体名：X橋保存会

<質疑・意見>

- 委員 地縁者と外から来た来訪者がどんな風に交わり、地元の人たちがどんな形になればこの事業は成功であると考えているのか、教えていただきたい。
- 説明者 この事業は今年で4年目、来年で5年目となるが、そのことが一番の課題であると捉えており、この2年間で考えていきたい。X橋保存会の会員は駅東だけではなく、仙台市内全域にわたっており、X橋がある地区は駅西にも近いいため駅東に限定することなく、仙台市全体にとって重要な場所にしたいと考えている。
- 委員 収支予算書の支出の項目の中に、まちづくり講座の印刷費で単価600円100部とあり単価がかなり高いが、資料の内容はどういったものか。
- 説明者 X橋物語の講座の資料代となる。内容は冊子や絵葉書、クリアマップなどを予定している。
- 委員 収支予算書を見ると、講師を招いたまちづくり講座やワークショップを予定しているが、受講料などは取らないのか。
- 説明者 本助成事業を活用する前に、国の文化庁の補助事業を活用していたが、その際は参加費や資料代などの徴収が認められておらず、その流れで、今でも受講料などを取っていない。
- 委員 今後の自己資金の調達方法はどのように考えているのか。
- 説明者 4年前のX橋の渡り初めの際に集めた資金の残余があり、それについては関係する町内会などと協議し、X橋の保存のために限定して使うことになっている。そのため、十分とは言えないがある程度の資金の目途は立っており、会費なども徴収していない。
- 委員 X橋は近隣の住民だけでなく、仙台市民にとっても非常に思い出のある場所である。しかし、X橋を知らない若い世代が増えていく中、長期的に活動を続けていくことは難しいのではと感じる。今後、どの様に継承していくつもりなのかをお聞きしたい。
- 説明者 X橋をそのまま残す訳ではなく、X橋をまちづくりの重要な要素として取り込んでいきたいと考えている。X橋には暗い歴史もあり、それを引きずるのではなく変えていきたいという思いがあり、例えば、「X(エックス)」というキーワードで、様々な取り組みを行っていかねばと考えている。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(3) 事業名：つるがや野菜のフードバンク

団体名：つるがや畑プロジェクト

<質疑・意見>

- 委員 震災から10年、支援される人が支援に回る仕組みを作られたのは、非常に素晴らしいことだと思う。このシステムはどなたが作られたのか。
- 説明者 もともと、会員からこども食堂かフードバンクをいつかやりたいという話が2年程前から出ており、今回、施設で畑を作ることができ、実現可能となった。
- 委員 裏で支える事務局の人が居て、初めて出来るシステムであると思う。ぜひ、この取り組みを大事に育てて行って欲しい。アウトプットとしては、仙台こども食堂とは繋がっているのか。

- 説明者 繋がってはいない。
- 委員 社会福祉協議会などと連携して、こども食堂といった様な市内の様々な団体についても、サポートをしていていただきたい。
- 委員 会員数は 20 名とのことだが、畑仕事の経験が有る人と無い人の割合はどれくらいか。
- 説明者 経験の無い人がほとんどだが、活動に協力してくれる農業指導者のおかげで、ようやくある程度出来るようになってきた。
- 委員 会員の方は津波で家を無くされた方が多く、沿岸部では農業をされている方が多いので農業経験者が多いのかと思ったが、そういう訳でも無いということか。
- 説明者 商売として農業をやっていた方は少ないが、自宅で食べる程度の野菜を作っていた方は多い。
- 委員 耕運機大・小のリース代が毎月約 16,000 円となっているが、これは毎月 1 年間必要なものなのか。
- 説明者 開墾するのに耕運機が必要となるため、現在、農機具メーカーと折衝中だが、実際には大・小どちらか一方のみのリース代になるが、今回は時間の関係上、購入価格を 12 回で割った金額を計上している。
- 委員 購入する予定で分割して払うということか。
- 説明者 リースとなる。今後、安く手に入れる機会があれば購入も検討するかもしれないが、リースであれば故障やメンテナンス等の対応をメーカーが行ってくれるので、まずはリースでとなる。
- 委員 種苗代 50,000 円とあるが、だいたい幾らくらいの収穫を期待してこの金額なのか。
- 説明者 去年までは畑が狭く、収穫しても売れる量は少なかったが、今年からは施設の広い畑を借りることができ、実際にやってみなければどの程度の収穫になるかは分からないが、まずは一年間頑張りたい。
- 委員 バザーでの収益を 39,000 円と見込んでいるが、これに掛かる種苗代は幾らくらいで考えているのか。
- 説明者 20,000 円程度と考えている。

<協議結果>

助成事業として採択する。

3 閉会